

「都心部まちづくりプラン」について

都市整備部 NCC推進課 都心部まちづくり推進室
 市街地整備課 再開発室

人中心の居心地が良い街なかの空間形成を目指して ～ウォーカブルなまちづくりなどを官民協働で推進する「プラン」を策定！～

「都心部まちづくりビジョン」が描くまちの姿の実現に向け、「街なかの空間」を人と様々な交通が共存しながら、都市活動を支える多様なまちの機能が充実した、人中心の居心地が良い空間に変えていくウォーカブルなまちづくりなどを推進するため「都心部まちづくりプラン」を策定しました。

市民や事業者など、街なかを「つくりたい人、使いたい人」とちと本プランを共有しながら、魅力的でわくわくする空間づくりを官民協働で、より一層推進してまいります。

将来のまちの姿（イメージ）



特徴 1

官民で共有する本市ならではのウォーカブルなまちの姿を明示

特徴 2

まちづくりの土台となる道路ごとの将来的な使い方を明示

特徴 3

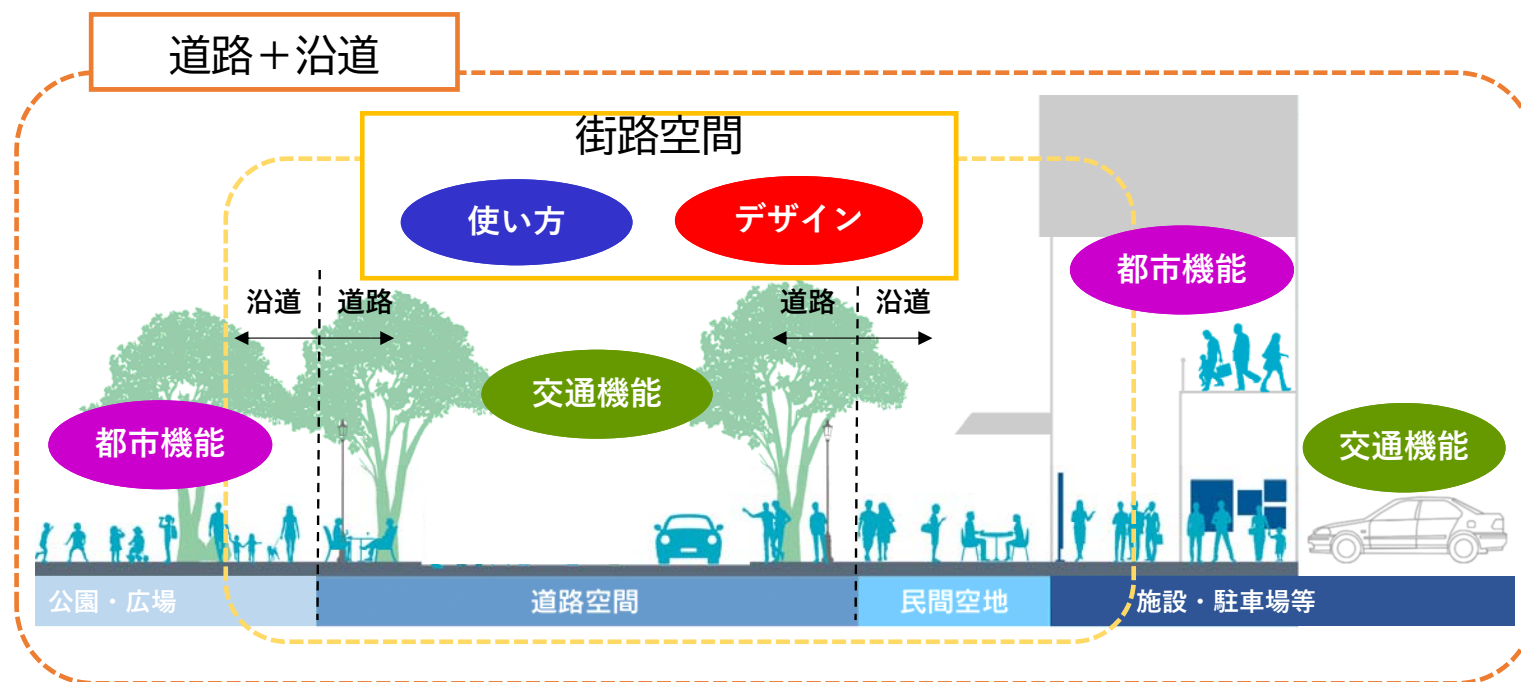
地域の個性や魅力を活かした即地的な取組を展開

「都心部まちづくりプラン」について

1 計画の特徴

(1) 官民で共有する本市ならではのウォーカブルなまちの姿を明示

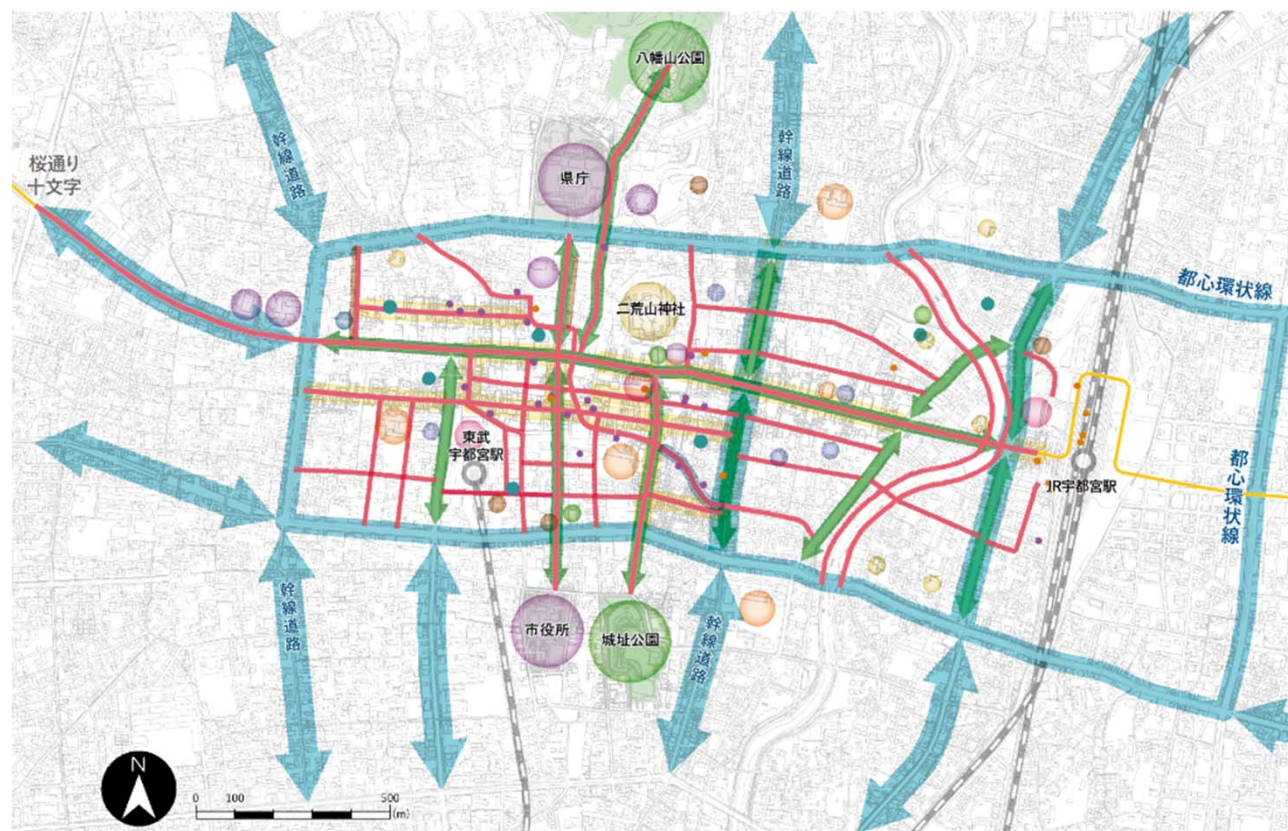
- ・ 限りある「街なかの空間」において、空間を有効に活用し、人とライトラインをはじめ、多様な交通が共存しながら、街なかのにぎわいづくりにつなげていくことを基本に、本市ならではのウォーカブルなまちづくりを推進する計画の理念を明示した。
- ・ こうした理念のもと、道路と道路沿いの敷地や建物を一体的に捉えた「街路空間（下図）」を、道路の役割や特性に応じて、多角的な視点から居心地の良い空間の形成を図る。



「都心部まちづくりプラン」について

(2) まちづくりの土台となる道路ごとの将来的な使い方を明示

- ・ 限りある街なかの空間を有効に活用するため、道路の役割や特性に応じて、都心環状線内の主な道路について、自動車等の広域的な移動や人の回遊・滞在など「目指す道路の使い方」を明示した。
- ・ この使い方を土台に自動車の流入抑制や多様のまちの機能の誘導などに取り組む。



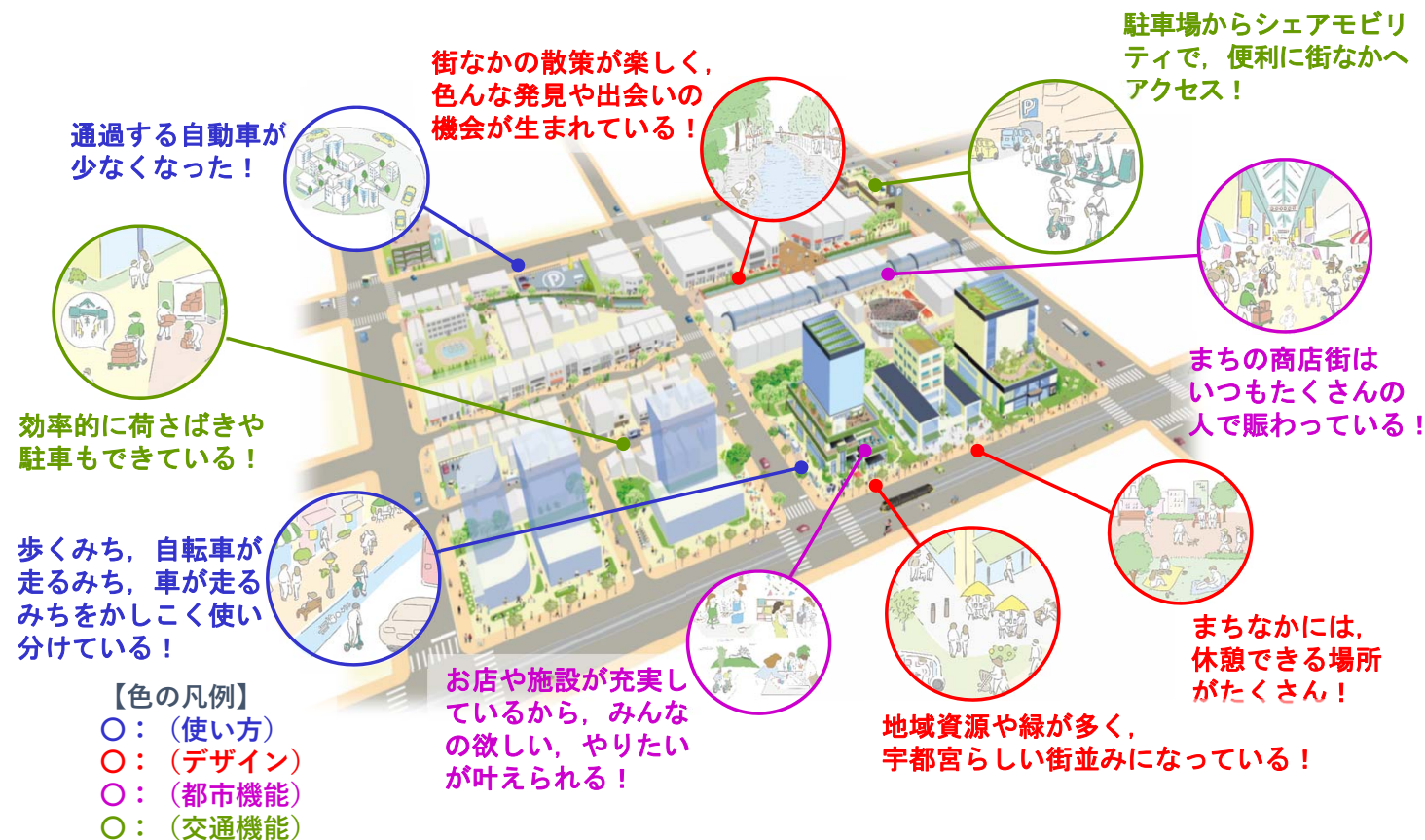
凡例

- ↔ : 広域的な移動で使う道路
- ↔ : 拠点間の移動や大通りへのアクセスで使う道路
- : 人の回遊・滞在で使う道路

「都心部まちづくりプラン」について

(3) 地域の個性や魅力を活かした即地的な取組を展開

- 街なかをつくりたい人、使いたい人などと共に、都心部全体において、道路の使い方を踏まえながら、街なかの商店街や駅周辺など地域の個性や魅力を活かした即地的な取組を展開していく。



主な取組み	
道路の使い方を踏まえた街なかの自動車の誘導	
人中心の街路空間形成に向けた ・プレイスメイキングの推進 ・道路空間の再編	
まちづくりに貢献する民間開発の誘導	
「住む」「働く」「学ぶ」「憩う」など多様なまちの機能の立地誘導	
都心環状線内における駐車場の量や配置の適正化	
まちづくりと連携した荷さばき環境づくり	
街なかの回遊性を高める公共交通や端末交通の充実	

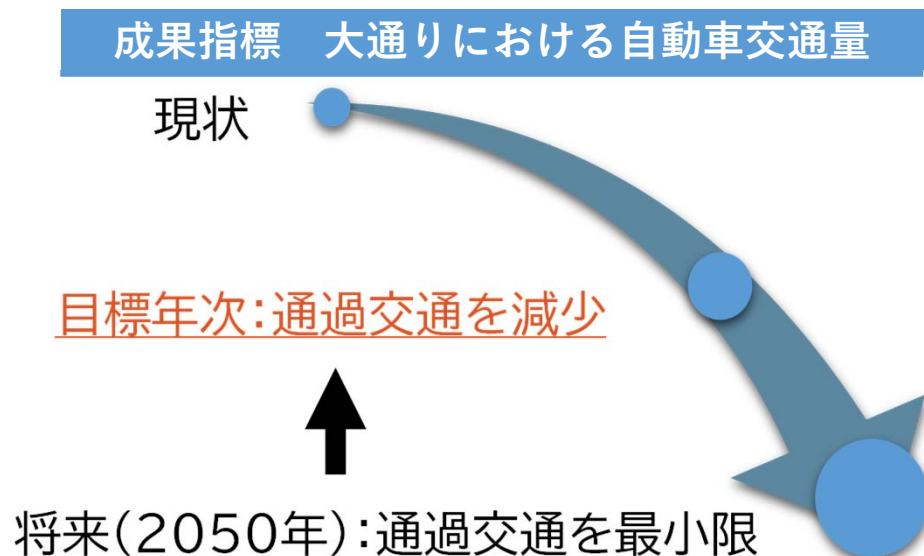
「都心部まちづくりプラン」について

2 今後の進め方

- 今後、即地的な取組の展開にあたっては、ウォーカブルなまちづくりの中心となる大通りや東武宇都宮駅周辺など拠点となるエリアなどにおいて、より丁寧に、多くの関係者と意見交換を行い、まちづくりの議論を深めながら取り組んでいく。

3 成果指標

- 官民協働で推進するまちづくりの目標として、大通りを通過する自動車の量を減少させることや、街なかの来訪者数を増加させるなどの成果を達成することを目指す。



成果指標 街なかの来訪者数（軸の歩行者通行量）

将来(2050年):通行量の増加傾向を維持

目標年次:現状から増加

現状